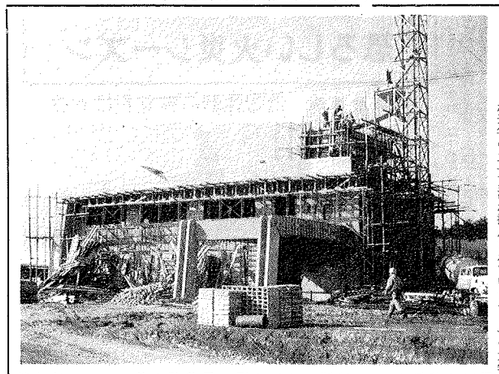
着々進む無雪都市造り

国立雪害研究所 今冬から実験を開始

消雪パイプ 布設に国庫補助も



「長い歳月、市民に苦悩と不測の損害を与えてきた雪害を雪国の宿命とい（諦）観することは、いまや今日の経済情勢は社会生活上それは許されないことであります。この切実な市民多年の悲願が結集され……ここに長岡市を無雪都市とするものであります。」と、全国の他都市に先がけて無雪都市を宣言してから、はや一年の歳月が流れました。

この間、市民の皆さんと一緒にこの宣言が、宣言だけに終わることがないよう努力してきましたが、この一つの成果として悟吉町に国立雪害研究所が建設されることになりました。

実験所の中核となる低温実験室は、マイナス五度に約四万平方メートルの土地に六百二十二平方メートルの五度室のほか、百六十二平方メートルの五度室、それにプラス五度室の五室が設けられ、自動制御装置の冷却装置、それに操作室などからなる鉄筋コンクリート二階建てで、来年の二月末に完成されますが、とり急ぎ十二月から研究を開始する予定です。

実験所の中核となる低温実験室は、マイナス五度に約四万平方メートルの土地に六百二十二平方メートルの五度室のほか、百六十二平方メートルの五度室、それにプラス五度室の五室が設けられ、自動制御装置の冷却装置、それに操作室などからなる鉄筋コンクリート二階建てで、来年の二月末に完成されますが、とり急ぎ十二月から研究を開始する予定です。

前山に建設中の国立雪害研究所の中核となる低温実験室は、マイナス五度に約四万平方メートルの土地に六百二十二平方メートルの五度室のほか、百六十二平方メートルの五度室、それにプラス五度室の五室が設けられ、自動制御装置の冷却装置、それに操作室などからなる鉄筋コンクリート二階建てで、来年の二月末に完成されますが、とり急ぎ十二月から研究を開始する予定です。

栖吉町字

今冬は積雪の組成から

研究所で行なわれる研究は基礎的なことからはじまり応用的なものに進む方針で、まず、ことしは〝積雪の組成〟から取り組む予定で野外にも出て北陸平野部の積雪を研究する予定です。

そして、来年からは福井、富山、弘前、北大などの大学とも連絡をとり、全国的に同じ時点で観測をして資料を交換したり同じサンプル試験場所をつくって除雪車の性能実験などを行なう計画です。

自然条件の記録も

また、自然条件の記録を得るために、屋根や傾斜積雪などの十分間単位の強度などの測定、二本のポールに赤外線を利用して積雪量を計測する隔測自記深計、水量計による重量式積雪計としての自動観測装置が準備され、実験室では雪圧試験機や偏光顕微鏡などが整備されてゆきます。

二万二千メートルに達した消雪道路

また、市でこれまでためたたかって布設された消雪パイプも延長約二万二千メートルに達した消雪道路網を研究所でも利用するほか、いろいろと心配ごとや相談にものってくれることになっています。

今冬から実験を開始

消雪パイプ 布設に国庫補助も

栖吉町字前山に建設中の国立雪害研究所の中核となる低温実験室は、マイナス五度に約四万平方メートルの土地に六百二十二平方メートルの五度室、マイナス五度室、マイナス十五度室、マイナス二十五度室、それにプラス五度室の五室が設けられ、自動制御装置の冷却装置、それに操作室などからなる鉄筋コンクリート二階建てで、来年の二月末に完成されますが、とり急ぎ十二月から研究を開始する予定です。

実験所の中核となる低温実験室は、マイナス五度に約四万平方メートルの土地に六百二十二平方メートルの五度室、マイナス十五度室、マイナス二十五度室、それにプラス五度室の五室が設けられ、自動制御装置の冷却装置、それに操作室などからなる鉄筋コンクリート二階建てで、来年の二月末に完成されますが、とり急ぎ十二月から研究を開始する予定です。

栖吉町字

今冬は積雪の組成から

研究所で行なわれる研究は基礎的なことからはじまり応用的なものに進む方針で、まず、ことしは〝積雪の組成〟から取り組む予定で野外にも出て北陸平野部の積雪を研究する予定です。

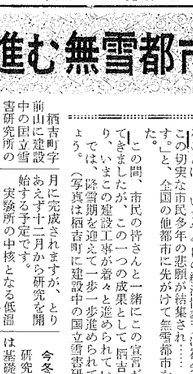
そして、来年からは福井、富山、弘前、北大などの大学とも連絡をとり、全国的に同じ時点で観測をして資料を交換したり同じサンプル試験場所をつくって除雪車の性能実験などを行なう計画です。

自然条件の記録も

また、自然条件の記録を得るために、屋根や傾斜積雪などの十分間単位の強度などの測定、二本のポールに赤外線を利用して積雪量を計測する隔測自記深計、水量計による重量式積雪計としての自動観測装置が準備され、実験室では雪圧試験機や偏光顕微鏡などが整備されてゆきます。

二万二千メートルに達した消雪道路

また、市でこれまでためたたかって布設された消雪パイプも延長約二万二千メートルに達した消雪道路網を研究所でも利用するほか、いろいろと心配ごとや相談にものってくれることになっています。



長岡市政だより

第122号
発行所
長岡市役所
長岡市柳原町
（電話代表②1122）

住民登録人口
（11月1日現在）

世帯数	33,754
人口	153,130
男	74,797
女	78,333

心とからだの健康展

最近、社会問題としてとりあげられている緊急中ヤング等の成人病問題、コレラや日本脳炎等の防疫問題など公衆衛生について、その正しい知識を普及し、公衆衛生の推進を目的として、次のようなご催しものを行ないます。

心とからだの健康展

12月 1日～6日（午前10時～午後5時）

場所 厚生会館

内容 ①成人病、伝染病の生、結核、寄生虫関係の標本展示 ②疫苗接種 ③予防衛生の作品展示 ④血圧、精神衛生相談（無料）午前10時～午後3時）

横断は片手をあげて合図して

ねずみを退治しよう

県下いっせいに駆除運動

ねずみ退治を行なうことになりましたので、皆さんのご協力をお願いします。

一、ねずみくじの発行

実施期間中、捕殺したねずみを市役所清掃課、各出張所、各連絡所、各公民館まで持参すると、一匹について一枚のくじがつきます。このねずみくじの抽選会は昭和四十年一月二十五日に行なわれますが、県内にご三千本、一等トランジスター時計 十二本 二等電蓄ステレオ 六十本 三等電気スタンド 六十本 四等ライト付ペンシール 百二十本

二、ねずみ駆除券の発行

市であっ旋する駆除薬に県内で次の賞品が当る抽選券をつけます。

名人位 一名
準名人位 一名
上位 十傑 各×人で百匹以上を捕殺した「ねずみとり名人」を対象に行ないます。（県内）

三、ねずみとり名人コンクールの実施

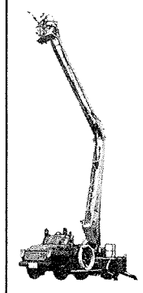
駆除運動実施期間中、個人で百匹以上を捕殺した「ねずみとり名人」を対象に行ないます。（県内）

一等三ツ折マットレス 六本
二等和式マットレス 十二本
三等毛布（純毛） 三十本
四等シーツ 六十本

農協の合併について

（合併の構想と運営計画 3）

（左の写真は新しく備えられた屈折ハシゴ付き消防車）



秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

前号で、農協の合併後の事業体制について、組合員の利益向上のため積極的な事業推進をはかるが、とくに次の事業については各組合員の意向を十分に聴取して各支所の協力共計方式を採用し、現地の実情に即した事業運営をはかる。

(一)信用事業…外務活動の強化により貯蓄の積極的増強をはかり、営農指導と一体となった融資制度の拡充をはかる。

(二)共済事業…青年婦人部その他の組織の協力により、長期計画に基づく全戸加入運動を展開する。

(三)販売事業…営農指導と販売体制を直結した集荷の徹底をはかるとともに、生産者の意向を十分に聴取して各支所の協力共計方式を採用し、現地の実情に即した事業運営をはかる。

(四)購買事業…農家経済の安定と生産力の増強をはかるため、生産資材の購買の強化と共計方式、現金決済制度の採用による手数料の引き下げをはかる。

(五)指導事業…営農指導と販売体制を直結した集荷の徹底をはかるとともに、生産者の意向を十分に聴取して各支所の協力共計方式を採用し、現地の実情に即した事業運営をはかる。

(六)加工利用事業及びその他の事業

現在の設備を合理的に運営するとともに実績積なども考慮して整備拡充をはかる。とくに農機具サービスセンターについては全地区に設置することとし、施設の充実と運営の合理化をはかるとともに青年婦人部等の協力組織の育成強化に努める。

⑧生活資金の専門指導員を設置するとともに、改善のための教育活動を実施する。

⑨他関係指導機関との連絡を密にし、とくに農機具と密接な連絡をはたもち、農業者の福祉増進に努める。

心配ごとの解決に

生活相談所のご利用を

毎日の生活のなかで、いろいろと心配ごとが生じ、どうしたらよいかと悩んでいる方があると思いますが、このようなときには、ご遠慮なく市内各所にある生活相談所（社会福祉法人長岡市社会福祉協議会設立）をご利用ください。

土地家屋の問題、家庭不和や嫁、しゅうとの問題、結婚問題、金銭の問題など、あらゆる幅広いご相談に応じています。

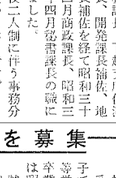
なお、費用はいっさい無料で相談に応じていますのでご利用ください。

心配ごと相談所の案内図

9月定例市議会

防災会議条例等を制定

助役二人制に伴う 高田助役の選任に同意



（写真は高田助役）

九月定例市議会は九月二十八日に招集され、十月七日に閉会しました。この定例会には二十五件を上程され、可決、請願十三件を採択しました。なお、可決された主な内容をお知らせします。

一、事決処分の承認

昭和三十九年度一般会計補正予算（一、九七七万七千円）、昭和三十九年度下水道事業会計補正予算（一三万円）昭和三十九年度簡易水道事業会計補正予算（一四〇万円）昭和三十九年度国民健康保険会計補正予算（一、四四四万円）の専決処分を承認。

二、補正予算を可決

昭和三十九年度一般会計補正予算（一億三〇四万五千円）、昭和三十九年度下水道事業会計補正予算（一四〇万円）、昭和三十九年度国民健康保険会計補正予算（一、四四四万円）、昭和三十九年度簡易水道事業会計補正予算（二三万円）昭和三十九年度下水道事業会計補正予算（一、四四四万円）の専決処分を承認。

三、条例の制定

長岡市特別職報酬等審議会条例、長岡市防災会議条例、長岡市災害対策本部条例の制定。

四、条例の一部改正

長岡市附属機関設置条例、長岡市職員の給与に関する条例、長岡市国民健康保険条例の一部改正を原案可決。

五、契約の締結

関南中継局建築工事（三、六一〇万円）の契約を締結。

六、その他

市税滞納について、市道路線の一部廃止、土地区画整理事業施行に伴う町及び字の区域と町の名称変更について、新潟県長岡市栃尾三古義老院組合の規約の変更について、可決。

助役のひとりに

高田大住氏

庁総務課長、下越支庁住民分室長、開発課長補佐、地方課長補佐を経て昭和三十九年四月商政課長、昭和三十八年四月助役選挙、昭和三十八年度協議会の協力により市長三千七百二十四メートル道路の消雪パイプ延長二千一六〇万円の国庫補助が確定しました。

千代百万円の国庫補助

長岡市議会に設けられた雪害対策特別委員会と民間雪害都市連盟協議会が、十九年度豪雪対策費として、昭和三十九年度豪雪対策費として、昭和三十九年度豪雪対策費として、昭和三